

令和 8 年度 第 1 回雄武町地域公共交通活性化協議会 議事概要

1 開会 ～ 前田事務局長（公共交通対策室長）

2 会長あいさつ ～ 新谷会長（副町長）

3 議事

【報告事項】

(1) 協議会委員の委嘱状況について

配布資料（資料 1）に基づき、事務局から説明

質疑応答～質疑なし 承認

(2) 令和 7 年度経過報告について

配布資料（資料 2）に基づき、事務局から説明

質疑応答～質疑なし 承認

(3) 令和 7 年度収支決算・会計監査報告について

配布資料（資料 3）に基づき、事務局から説明

配布資料（資料 4）に基づき、監事から報告

質疑応答～質疑なし 承認

【協議事項】

(1) 令和 8 年度事業計画（案）・収支予算（案）について

配布資料（資料 5 及び資料 6）に基づき、事務局から説明

質疑応答～質疑なし 承認

(2) コミュニティバスの日曜運行について

配布資料（資料 7）に基づき、事務局から説明後、為国アドバイザーから導入の経緯について補足説明

為国アドバイザー「水産加工場の事業者が休日に市街地へ技能実習生の送迎を実施していることから、加工場の負担軽減も兼ねて今回コミュニティバスの日曜運行を実施するもので、実証運行でどれくらいの利用者数が見込めるか期待しています。」

【質疑応答】

委員「9回の運行で委託費60万円として、今後の本格運行ではどれくらいの委託費となるか。人員の確保は大変な課題であるため、交通事業者の手当には配慮いただきたい」

小俣「コミュニティバスの運行委託料は、今年度約800万円となっており、来年度以降に日曜日も通年運行とした場合の委託料ですが、それは現行の平日5日を維持するかにもよります。仮に日曜運行を継続し、かつ利用の少ない平日を運休として日曜日を運行するとした場合は、運行日数に変更がないため、本年度の委託費と大きな変わらないものと見込めますが、労務単価の上昇などで運行日数に関わらず、本年度より増額となる可能性もあります。」

為国アドバイザー「公共交通経費だけで他自治体と比較すると、雄武町の交通に係る予算は少ない状況です。交通事業者が継続的に運行できるような予算を確保するように私からも町に依頼しています。コミュニティバスや路線バスの無料乗車助成事業の利用実績を見ると、公共交通の利用数が確保できていますので、これからは国の補助事業を活用して予算を確保して、町の負担を低減しながら進めていきたい。」

その他質問なし 承認

4 その他

森首席運輸企画専門官「持続できる公共交通の課題として、人員確保がかなり難しくなっています。その点は国の取組によって共同化、協業化が図られてきていますが、公共交通を取り巻く制度は日々新しくなっています。新たな制度の活用など、運輸支局が支援できることがあると思いますので、遠慮なくご相談いただきたい。」

阿部委員（オホーツク総合振興局）「コミュニティバスの日曜運行は外国人を雇用している事業者の支援につながるだけでなく、技能実習生が市街地へ出てきてもらうことで、町のにぎわい創出にもつながるものと認識しています。」

神委員（北紋バス）「無料乗車助成事業は、利用数の実績が出ており、当社としてもありがたいと感じている。一方で人員の確保は喫緊の課題であり、なかなか良いアイデアがなく、現実には厳しい状況です。将来的にはバス路線が継続できなくなる可能性が高いと考えています。なんとか皆さんの知恵や知見をお借りして、事業を継続していきたい。」

今枝幸事業所長（宗谷バス）「枝幸町のコミュニティバスは、正月の三が日以外は運行しています。当社も人員の確保は厳しい。現在の運転手が定年になった場合は、廃線を決定せざるを得ない状況もあると考えている。」

5 閉会 ～ 新谷会長（副町長）